

落書き防止に 壁画制作



▲旧中の川の壁画制作の様子

九 月三十日から十月十日まで旧中の川遊歩道（発寒六条九丁目）で、十月二十七日・二十八日には、寒月橋付近の歩道線（発寒十条一丁目）で、地元小学生が壁に絵を描きました。今までこの二つの歩道は、壁一面に落書きされるなど、付近住民や通行人に不快感

を与えていました。区土木部は、子どもに壁画を書いてもらうことで、落書きの防止策になるのではと壁画制作を小学校に依頼。学校から「子どもたちが公共的な環境にかかわる機会はめったにないので、ぜひやらせてほしい」との返事をもらい実現しました。

旧 中の川遊歩道に壁画を描いた発寒西小学校では、三、六年生の児童五百二十人が参加。色とりどりのシャボン玉や風船が空に飛んでいくイメージを表した円の中に、白いペンキで思い思いに花や魚、虫などの絵を描いていきました。五年三組の池田駿汰君は、「壁に絵を描くのは楽しかった。なかなかの出来です」と満足そうに話していました。

▼絵を描く八軒西小学校の児童たち



寒

月橋の歩道線では、魚や鳥をイメージした色とりどりの下絵の上に、八軒西小学校の四、六年生の児童三百十人が上手な手つきで魚のうろこや鳥の羽を描きいれました。

区土木部管理担当課の池田則雄係長は「JR跨線橋の橋脚などにも、落書きが後を絶ちません。来年は地域の声を聞きながら、手稲区土木部なども協力して落書き防止の壁画制作に取り組めれば」と話していました。

問い合わせ先 西区土木部
管理担当課 TEL(667) 3100

十

月と十一月に一回ずつワークショップを開催し、市建設局河川課と地域の皆さんが一緒に話し合いを行いました。参加者からは「憩いの場を作るためにもっと平らなところを造れないか」、「誰もが水と触れあえるようにさくを設けないためにはどうしたらいいか」など多くの課題について話しをしました。

このワークショップに二回とも出席した下川原正次さんは、「西野に住んで三十年以上たちますが、この川にこんなたくさん生き物がいたのは知りませんでした。もっと多くの子どもたちにこの計画作りにかかわってもらい、将来は子どもたちが楽しく遊べる川になつてほしいですね」と笑顔で話していました。

第三回ワークショップは十二月十七日(水)午後六時三十分から西野第二町内会館で行います。前回までの意見を踏まえた模型を使い、具体的なデザインについて話し合う予定です。

(今後の予定)

第三回ワークショップは十二月十七日(水)午後六時三十分から西野第二町内会館で行います。前回までの意見を踏まえた模型を使い、具体的なデザインについて話し合う予定です。

▼模型を使った説明に聞き入る参加者



西

野第二小学校では、河川課と協力して五年生の総合学習や国語の時間を使って、西野川の歴史を昔からこの地域に住む方に聞いたり、川の調査をしたりして、地域の河川である西野川により関心を持つてもらえるような取り組みを始めています。



▲下川原正次さん

問い合わせ先 建設局河川課 TEL(21) 2627